

Press Release:2011.8.9

【∞ [オクト] 展】百崎恭子・山崎鈴子

2011年9月13日(火) — 9月18日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで



百崎恭子 《しあわせ》 2011 530×410mm 高知麻紙、岩絵具、水干絵具、パール、墨、他



山崎 鈴子 《夜想曲》 2011 909×727mm 高知麻紙、岩絵具、墨

ご案内

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2011年9月13日から18日まで、ともに京都造形芸術大学大学院に在籍する山崎鈴子・百崎恭子による二人展「∞[オクト]展」を開催します。

現在、京都造形芸術大学大学院 芸術研究科 芸術専攻博士1年に在籍する山崎鈴子(やまざき・れいこ 東京・1983年～)、同大学大学院 芸術研究科 芸術表現専攻 修士2年に在籍する百崎恭子(ももさき・きょうこ 長崎・1985年～)は、これまで日本画による作品を制作・発表しています。

何気なく佇む花、水面に浮かぶ花びら、そびえ立つ大樹など、およそ身近な物や風景などを、日本画の持つ魅力をそのままに、緻密に、時にドラマチックにとらえた作品は、「強さ・儂さ」や「静寂・ざわめき」といった様々な情感を伝えるとともに、作家の身近な世界を感じ取る瑞々しい感覚や、それぞれが向ける眼差しを感じる事が出来ます。

「私達は、日々の暮らしや自然からインスピレーションを受け制作している。描くという行為は、私達のありのままの姿を求めることであり、その中で表現は自然と生まれ、描くことでそれぞれの世界や空間が構築されていく。自分自身に内在する感覚を解き放ち、感情を呼び起こし、それらを作品に表現することで、私達と人々との在り方の新たな可能性を見つけ出せると信じている。」

2人の若手作家の新作を中心に展開する本展では、日本画が持つ画材・技法・質感・表現世界といった魅力とともに、等身大の若手作家の視線や、そこに生まれた表現が呼び起こす豊かな感覚をお楽しみください。

本展の周知にご協力くださいますようお願いいたします。

※本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、Gallery PARC[galleryparc@grandmarble.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 ∞[オクト]展

出品作家 山崎 鈴子・百崎 恭子

会 期 2011年9月13日(火) — 18日(日) 11:00~19:00 最終日18:00まで

会 場 Gallery PARC(グランマーブル ギャラリー・パルク)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ]2階

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】galleryparc@grandmarble.com 【HP】http://www.grandmarble.com/parc/

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分

Press Release:2011.8.9

京都造形芸術大学大学院に在籍している二人による展覧会「∞展」(オクト)。

私達は、日々の暮らしや自然からインスピレーションを受け制作している。描くという行為は、私達のありのままの姿を
求めることであり、その中で表現は自然と生まれ、描くことでそれぞれの世界や空間が構築されていく。

自分自身に内在する感覚を解き放ち、感情を呼び起こし、それらを作品に表現することで、私達と人々との在り方の新たな
可能性を見つけ出せると信じている。

「∞展」では作品と社会との関わりによって生まれる、人との関係性をそれぞれの視点で描き出し、互いに追い求める表
現を融合し、新たに生み出される感覚を提示したい。

山崎鈴子・百崎恭子

百崎恭子 Momosaki Kyoko

■略歴

1985 - 長崎県生まれ

2010 - 九州産業大学 芸術学部 美術学科 日本画コース 卒業

- 京都造形芸術大学大学院 芸術研究科 芸術表現専攻 入学

現在 - 京都造形芸術大学大学院 芸術研究科 芸術表現専攻 修士2年在籍

展覧会歴

2010 - 京展2010 入選

- 日米美術学生展inNY

- 第55回長崎県美術展覧会公募展 長崎県教育委員会賞

2011 - 日米美術学生展inNY

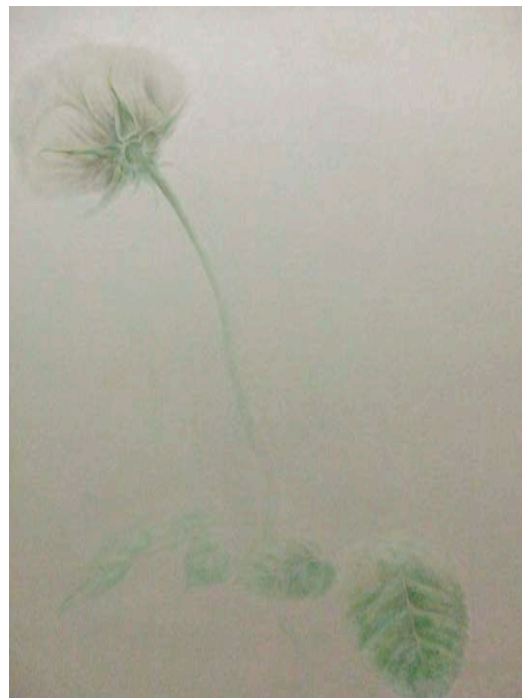
第15回新生展 入選

他、展覧会多数

誰かと分かり合えないとき、人は孤独に陥る。

そこはかかない寂しさや虚しさを感じる一方で、相手と自分の存在の
強さを確認し、相手が相手らしく、自分が自分らしく在ることへの、揺
るぎない安心感を覚える。

後ろ姿の向こうには、自分の知らない相手の世界がどこまでも続いている。
分かりえない相手の姿をとらえようと、目を凝らし想いをはせる
とき、自身の世界の中に自分が感じる相手の存在が、無限に拡がって
行く。



しあわせ(部分) 2011 高知麻紙、岩絵具、水干絵具、パール、墨、他



しあわせ(部分) 2011 高知麻紙、岩絵具、水干絵具、パール、鉛筆 他



cross 2011 530×410mm 高知麻紙、岩絵具、水干絵具、パール、墨 他

Press Release:2011.8.9

山崎鈴子 YAMAZAKI Reiko

■略歴

1983 - 東京都生まれ

2009 - 京都造形芸術大学 美術工芸学科 日本画コース 卒業

2011 - 京都造形芸術大学大学院 芸術研究科 芸術表現専攻 修了

現在 - 京都造形芸術大学大学院 芸術研究科 芸術専攻 博士1年在籍

展覧会歴

2009 - ALBION AWARD 2009 銀賞

2010 - 京展2010 入選

- 第8回雪舟の里総社市墨彩画公募展2010 入選

- 第21回臥龍桜日本画大賞展 入選

- 日米美術学生展inNY(2011年)

2011 - 第66回春の院展 初入選

- 京都造形芸術大学 日本画専攻 千住博研究会 作品発表展

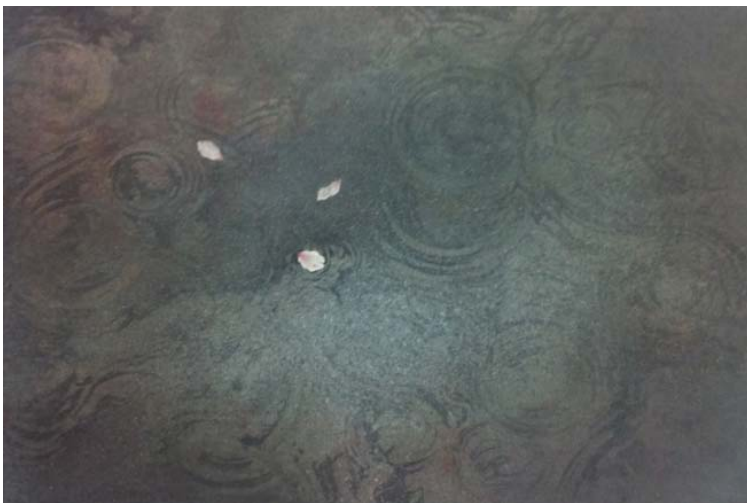
- 地平線会 -千住博が推す作家たち-

他、展覧会多数

人は社会と共感し関わられたと感じたときに幸福を享受できる。
絶対的な孤独は、時としてそれが恐怖となり主体性を失う。
目にした風景には必ず感情が介在し、人の心理が常に関わっている。
今 目の前にある情景は、私自身の心に他ならない。
私はその表出された作品を媒体に共感覚を得ようとしている。
それが幸福を感受できる方法であると思っている。



浮遊 2011 652×530mm 高知麻紙、岩絵具、墨



春宵 2011 606×409mm 高知麻紙、岩絵具、墨



日の木 2011 1167×1167mm 高知麻紙、岩絵具、墨